

2026 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名	株式会社 J N グループ
代 表 者 名	代表取締役社長 石原 直樹 (スタンダード市場・コード 6634)
問 合 せ 先	
役 職 ・ 氏 名	取締役管理本部長 齊藤 洋介
電 話	03-5766-9870

Z a i f、セキュリティ分野における株式会社 C A I C A D I G I T A L との業務提携に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社 Z a i f（本社：東京都港区、代表取締役社長：石原 直樹）は、株式会社 C A I C A D I G I T A L（証券コード：2315、本社：東京都港区、代表取締役社長：鈴木 伸）との間で、セキュリティ分野における業務提携を行うことについて合意いたしましたので、お知らせいたします。詳細につきましては、添付をご参照ください。

2026 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名
代 表 者 名
問 合 せ 先

株式会社 Z a i f
代表取締役社長 石原 直樹
お問い合わせフォーム
(24 時間 365 日受付可能)
<https://support.zaif.jp/hc/ja/requests/new>

セキュリティ分野における CAICA DIGITAL との業務提携に関するお知らせ

当社は、株式会社 CAICA DIGITAL（東証スタンダード市場、証券コード：2315、以下「CAICA DIGITAL」といいます。）との間で、セキュリティ分野における業務提携を行うことについて合意いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 業務提携の目的および背景

デジタル経済の急速な発展に伴い、サイバーセキュリティの重要性はますます高まっております。特に、暗号資産取引所をはじめとする金融インフラにおいては、AI を悪用した高度なサイバー攻撃の手法が高度化・多様化しており、堅固なセキュリティ対策の継続的な強化が業界全体の喫緊の課題となっております。

加えて、暗号資産を取り巻く規制環境も大きな転換期を迎えております。暗号資産に係る規制は、現行の資金決済法から金融商品取引法（金商法）へ移管することを内容とする改正法案が国会に提出されており、同法案の成立を前提として、2027 年度にも施行される見通しです。同法の下では、暗号資産交換業者の名称は「暗号資産取引業者」として位置づけられ、内部管理態勢の整備や、システムリスク・サイバーセキュリティ管理を含め、これまで以上に厳格な態勢整備が求められることが見込まれます。金融庁においても、「暗号資産交換業等におけるサイバーセキュリティ強化に向けた取組方針」（2026 年 4 月）が公表されるなど、業界全体でセキュリティ水準の一層の引き上げが求められております。

当社は、暗号資産交換業者として多くの個人・法人のお客様にサービスを提供しており、セキュリティ脅威が高度化するなかであっても、お客様に安心・安全にご利用いただける取引所であり続けることを、経営上の重要課題と位置づけております。とりわけ、上記の規制移行を見据え、システムリスク管理及びサイバーセキュリティ管理態勢を先行的に強化しておくことは、当社が今後も信頼される取引所であり続けるための重要な備えであると認識しております。こうした取り組みを通じて、高度なセキュリティ知見を継続的に蓄積・実装し、お客様基盤の一層の拡大を目指してまいります。

一方、CAICA DIGITAL は、セキュリティソリューション事業を今後の重点成長領域と位置づけ、事業拡大を推進しております。同社の子会社である株式会社 CAICA テクノロジーズは、金融機関向けシステム構築において長年にわたる豊富な実績を有し、強固なセキュリティ対策が求められる金融システムの設計・開発・運用において高い専門性を蓄積しております。加えて、暗号資産取引所のシステム構築・運営支援、サイバー攻撃被害を受けたシステムの復旧対応、セキュリティコンサルティング、ならびにブロックチェーン技術の活用においても、豊富な経験と実績を有しております。

こうした状況のもと、両社は、それぞれの強みと知見を組み合わせることで、より高度かつ実効性のあるセキュリティソリューションの研究・開発及び社会実装が可能であると判断し、本提携を締結するに至りました。当社は、本提携を暗号資産をめぐる規制環境が厳格化するなかで、当社のセキュリティ態勢を先行的に強化し、利用者保護と取引の安全性の一層の向上を図るための、前向きな取り組みと位置づけております。

2. 業務提携の内容

両社は、セキュリティに関する以下の取り組みを共同で実施いたします。

- ・ 暗号資産取引所を標的とする脅威・攻撃手法（AI を悪用した攻撃を含む）に関する共同技術研究
- ・ 当社取引所システムのセキュリティ評価・強化（脆弱性診断、インシデント対応・復旧体制の整備）に関する協力
- ・ 暗号資産に係る規制の金商法移管を見据えた、システムリスク管理・サイバーセキュリティ管理態勢の高度化に関する協力
- ・ 当社の取引所運営の知見を活用したセキュリティソリューションの実証・検証への協力
- ・ 暗号資産・金融分野のセキュリティ動向に関する調査・情報交換

3. 両社の強み

当社は、暗号資産交換業者として長年にわたり培ってきた取引所運営の知見と、日々進化する脅威に対応するセキュリティ運用の実績を有しております。

CAICA DIGITAL グループにおいては、子会社である株式会社 CAICA テクノロジーズが、56 年（注）にわたり、強固なセキュリティ対策が求められる金融機関向けシステム構築において豊富な実績を有するほか、暗号資産取引所のシステム構築・運営、サイバー攻撃被害を受けたシステムの復旧、セキュリティコンサルティング、ブロックチェーン技術等の分野においても実績を有しております。

本業務提携を通じて、これらの知見・技術と、当社が有する暗号資産交換業の知見を融合させ、より高度なセキュリティ対策の実現を目指してまいります。

（注）株式会社 CAICA テクノロジーズの実績年数は、CAICA DIGITAL の公表情報に基づきます。

4. 今後の見通し

本業務提携が当社の業績に与える影響につきましては、現時点で精査中であり、今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
株式会社 J N グループ
管理本部 TEL：03-5766-9870

以 上